# 構成ガイド: Oracle Cloud Infrastructure上から A10 vThunderをデプロイするための手順





- Oracle Cloud Infrastructure(OCI)でのA10 vThunderの起動方法
- SLBの設定サンプル
- 関連資料



# Oracle Cloud Infrastructure(OCI)での A10 vThunder起動方法



(1/9) OCIコンソールへのログイン

#### ユーザー名とパスワードを入力し、OCIのコンソールにログインします。

ORACLE <sup>®</sup> Cloud Infrastructure					
	SIGN IN				
	Image: The second se				
	USER NAME PASSWORD Sign In Forgot password?				
About Oracle       Contact Us       Service Health Dashboard       Legal Notices       Terms of Use       Privacy.         COPYRIGHT © 2016-2019, ORACLE AND/OR ITS AFFILIATES. ALL RIGHTS RESERVED.					



# (2/9) インスタンスの作成を開始

#### クイック・アクションから「VMインスタンスの作成」をクリックします。

ORACLE Cloud				🔍 Japan East (Tokyo) 🗸 🌔	⑦ 🗏 ⊕ 9
クイック・アクション 2: [1] [1] [1]	-677 348	3-5分 Always Free対象	3-5分 Always Free対象	<b>すべてのS</b> 可能 小ルス・ダー 示	シ <b>ステムが動作</b> ッシュボードの表
コンピュート VMインスタンスの作成	AUTONOMOUS TRANSACTION P Create an ATP database	e AUTONO e Create	omous data warehouse e an ADW database	アクション・	・センター
2-	-3 <del>3)</del>	5分 Always Free別象		へ、ユーザー管理 テナンシへのユーザー	-の追加
ネットワーキング Set up a network with a wizard	ネットワーキング Set up a load balancer	リソース自分の	<sup>間合せサービス</sup> )リソースをすべて表示	最新情報	
				Copying boot volume regions 2019年12月18日	backups across
ソリューション				Key Management enh 2019年12月18日	ancements
				Oracle Autonomous L platform image 2019年12月17日	inux available as a
				Block Volume multiple attachments for read/ 2019年12月13日	e-instance /write volumes
開発者ツールの開始 Oracle	eおよびサード・パーティのソ	カスタム・アプリケーションを Orcale Claud/二移行	Always Freeのリソースを使用して、	Recover deleted comp 2019年12月11日	partments
アプリケーションの開発を促進し、インフラス ノトリ トラクチャの管理を簡素化するためのキット、 らデー	フェアをマークットフレイスか プロイ	Oracle OloUO(こ行) Oracle Databaseを使用するカスタム・アプリ	っぽいWebアノリケーションをテノ ヶ イします。	リリース・ノートの課	長示





#### 「イメージ・ソースの変更」をクリックします。

ORACLE Cloud	🔍 Japan East (Tokyo) 🗸 🕐 텾 🌐 🧲
コンピュート・インスタンスの作成	
インスタンスの命名 Instance-20191231-1345	
オペレーティング・システムまたはイメージ・ソースを選択します(i)	
ORACLE Oracle Linux 7.7 LINUX イメージ・ビルド: 2019.12.18-0	ソースの変更
- <u> </u>	
可用性ドメイン (i)     RkKi:AP-TOKYO-1-AD-1       シェイプとタイプ (i)     VM.Standard.E2.1.Micro (仮想マシン) Awaya Free対象       プート・ポリューム (i)     46.6 GB       ネットワーク (i)     サブネット-20191231-1345, (new, public)	
① Oracle Linux、CentOSまたはUbuntuのイメージを使用してインスタンスに接続するには、SSHキー・ペアを使用する必要があります。イメージにSSH公開キー・ファイ まれていない場合は必ず指定し、関連付けられているSSH秘密キー・ファイル(.ppk)にアクセスできることを確認してください。「Linuxインスタンスでのキー・ペアの 「インスタンスへの接続」を参照してください。	イル(.pub)が含 ) <u>管理」</u> および



(4/9) イメージの選択

#### 「パートナ・イメージ」を選択します。

	ACLE	E Cloud	Q Japan East (Tokyo) ✔	众 ⊘ 🗏 🤅	⊕ 0
コンヒ	すべ	てのイメージの参照			Close
インスタン. instance-2	プラッ	トフォーム・イメージ Oracleイメージ パートナ・	イメージ カスタム・イメージ ブート・ボリューム イメージOCID		A
オペレーテ	Oracle	Cloud Infrastructure用の事前ヒルト済イメージ。詳細 オペレーティング・システム	は、 <u>Oracle提供イメージに関する増</u> を参照してください。		
		Autonomous Linux 7.7 Always Free対象			
LIN		Canonical Ubuntu 16.04 Always Free対象			_
		Canonical Ubuntu 16.04 Minimal Always Free対象			_
		Canonical Ubuntu 18.04 Always Free対象			
≌ু <u>&gt;⊤</u> 1		Canonical Ubuntu 18.04 Minimal Always Free対象			
可用性上		CentOS 6.10 Always Free対象			
シェイフ		CentOS 7 Always Free対象			
ネットワ		Oracle Linux 6.10 Always Free対象			
		Oracle Linux 7.7 Always Free対象			
() Or		Windows Server 2008 R2			
تة ا		Windows Server 2012 R2 Datacenter			





#### 「パートナ・イメージ」から「A10 vThunder…」を選択します。

	ACLE Cloud		🔍 Japan East (Tokyo) 🗸 🧿 텾 🌐 (	9
コンヒ	すべてのイメージの参照		Clos	ë
インスタン. instance-2	プラットフォーム・イメージ Oracleイメージ パートナ・イメージ カスタム・イメージ ブート・ボリューム イメ Oracleパートナによって公開された信頼できるサードパーティ社製イメージ。	-Socid		*
オペレーテ	アプリケーション名	公開者	価格	
	A10 vThunder Application Delivery Controller - BYOL	A10 Networks Inc.	BYOL V	
	Altair PBS Professional	Altair Engineering, Inc.	BYOL 🗸	
	Check Point CloudGuard IaaS - Security Gateway	Check Point	BYOL $\checkmark$	
	CloudGuard IaaS Next-Gen Firewall with Threat Prevention and SandBlast - BYOL	Check Point.	BYOL 🗸	
≌ ই≖শ	CloudGuard IaaS Security Management - BYOL	Check Point.	BYOL 🗸	
可用性上	Digital Defense Virtual Scanning Appliance	Digital Defense Inc.	無料 🗸	
シェイフ ブート・	Falcon Deploy - Community Edition	Falcon Deploy	無料	
ネットワ	FortiAnalyzer Centralized Logging/Reporting (BYOL)	Fortinet, Inc.	BYOL 🗸	
	FortiGate Next-Gen Firewall (BYOL)	Fortinet, Inc.	BYOL 🗸	
() Or	FortiManager Centralized Security Management (BYOL)	Fortinet, Inc.	BYOL 🗸	
L.	Earlingt Earlind C Application Dolivory Controllor	Eartinot Inc	BVOI	

# (6/9) イメージの選択

#### 使用条件の同意にチェックした上で「イメージの選択」をクリックします。

	ACLE (	oud		$\bigcirc$ Japan East (Tokyo) $\checkmark$ $[$	) 🤉 🛱 🌐	0
コンヒ	すべての	イメージの参照			<u>C</u>	lose
	Q	alys Virtual Scanner Appliance	Qualys, Inc	BYOL	$\sim$	-
インスタン. instance-2	Ra	:KWare RMM 6.5 for OCI	RackWare RMM 6.5 for OCI	BYOL	$\sim$	-
	Re	dmine Certified by Bitnami	Bitnami	無料	$\sim$	
オペレーテ	Re	ational Junction	Sesame Software.	BYOL	$\sim$	
	Ri	erbed SteelHead 9.9.1	Riverbed Technology	BYOL	~	
	🗆 si	SE Linux Enterprise Server 12 SP4 (BYOS)	SUSE	無料	~	
	🗆 si	SE Linux Enterprise Server 12 SP4 For SAP (BYOS)	SUSE	無料	$\sim$	
	🗌 si	SE Linux Enterprise Server 15 SP1 (BYOS)	SUSE	無料	$\sim$	
≌ ই≖ব	🗌 si	SE Linux Enterprise Server 15 SP1 For SAP (BYOS)	SUSE	無料	~	
	🗌 Ti	ne Machine on Oracle Linux - BYOL	SolutionSoft Systems	BYOL	~	
可用性ト シェイフ	Z(	roDown® Software HA for Oracle Cloud	ZeroDown Software	BYOL	$\sim$	
フート・ ネットワ	1を選択湯				32アイテムを表示中	
	パートナ・	イメージ"A10 vThunder Application Delivery Controller - BYOL"に関する合意				
① Or ま: 	<ul> <li><u>Oracle</u></li> <li>保証免責</li> <li>このアプリ</li> <li>用するシェ</li> </ul>	<u>日条件</u> を確認した上でこれに同意します <u>パートナ条件</u> を確認した上でこれに同意します ケーションはOracleのパートナにより提供されます。お客様がパートナのアプリケーションを使用するかわりに、お客様の会社名、テナント管理者名および イプおよびインスタンスの数や時間などの使用状況情報がパートナに提供される可能性があります。各当事者はそれぞれ、お客様の個人情報の使用を責任を	電子メール・アドレスに加えて、使用するアプリケ 持って管理します。オラクルによる個人情報の取扱	ーション、パートナのアプリケーショ いは、 <u>Oracle General Privacy Policy(</u>	ョンを実行するために使 オラクルのジェネラル・	
SSH干一の 作成 使用条件および	<u>ノライハシ</u> イメージ(	<u>ニ・ホリンー</u> )に従いま 9。ハートアによる個人情報の取扱いの詳細は、このOracleハートナのフライハシ・ホリシーを確認してください。 D選択 取消 (本-選択設定		Copyright © 2019. Oracle an	id/or its affiliates. All rights rese	▼

# (7/9) インスタンスの作成開始

#### インスタンス作成画面に戻ったら「作成」をクリックします。

≡ OR	ACL	Ξ Cloud	🔍 Japan East (Tokyo) 🗸 🧷 🗐 🌐 Q
コンヒ		ト・インスタンスの作成	
インスタンス	スの命名		
instance-2	20191231	2046	
オペレーテ・	ィング・	$\cdot$ ステムまたはイメージ・ソースを選択します $(i)$	
A	10,	A10 vThunder Application Delivery Controller - BYOL Deploy high-performance, enterprise-class load balancing with all-inclusive licensing	イメージ・ソースの変更
<u>≋ ≥±1</u>	<u>プ、ネッ</u>	シワークおよびストレージ・オブションの表示	*必要に応じ、オプションで"シェイプとタイプ"やネットワークの設定を追加 してください。
可用性ド シェイフ ブート・	<sup>≈</sup> メイン( パとタイフ □ ボリュー	) RkKiAP-TOKYO-1-AD-1 () VM.Standard2.1 (仮想マシン) ム() 46.6 GB	また、vThunderにSSHでログインできるようにするため、SSH用公開鍵の 登録を実施してください。
ネットワ	<b>)−ク</b> (i)	サブネットが選択されていません必須	方法は、Oracle Cloud上で用意されているヘルプを参照してください。
Ora ≣≭ 	acle Linu: れていない インスタン 追加 ()	、CentOSまたはUbuntuのイメージを使用してインスタンスに接続するには、SSHキー・ペアを使用する必要, V場合は必ず指定し、関連付けられているSSH秘密キー・ファイル(.ppk)にアクセスできることを確認してくだ スへの接続」を参照してください。	あります。イメージにSSH公開キー・ファイル(pub)が含 い。 <u>「Linuxインスタンスでのキー・ペアの管理」</u> および
作成 且	取消		



# 【参考】利用可能なインスタンスタイプ

- VM.Standard2.1
- VM.Standard2.2
- VM.Standard2.4
- VM.Standard2.8
- VM.Standard2.16
- VM.Standard2.24

- VM.Standard1.1
- VM.Standard1.2
- VM.Standard1.4
- VM.Standard1.8
- VM.Standard1.16

デフォルトではACOS4.1.4-P1が動作します。(2019年12月現在)





#### インスタンスが作成されたらパブリックIPアドレスでアクセスします。

E ORACLE Cloud		Q Japan East (Tokyo) ∽ /	♪ ? 🗏 🖨 9
コンピュート » インスタンス » インスタンス	の詳細 » 作業リクエスト		*
	instance-20191231	1345	
	開始 停止 再起動 リソースの移動	タグの適用 アクション  ▼	
	インスタンス情報		
	() インスタンスを使用する場合は、使	用手順を参照してください。	使用手順の表示
実行中	インスタンス情報		
	可用性ドメイン: RkKI:AP-TOKYO-1-AD-1	<b>イメ</b> ージ: <u>公開されたイメージ: A10 vThunder ADC</u>	
	フォルト・ドメイン: FAULT-DOMAIN-2	OCID:tawahq <u>表示</u> <u>コピー</u>	
	リージョン: ap-tokyo-1	<b>起動済:</b> Tue, 31 Dec 2019 04:53:08 UTC	
	シェイプ: VM.Standard2.1	コン <b>パートメ</b> ント: a10kktrial (ルート)	
	仮想クラウド・ネットワーク: <u>VirtualCloud</u>	etwork-20191231-1345 起動モード: PARAVIRTUALIZED	
	メンテナンス再起動: -		
	プライマリVNIC情報		
	プライベートIPアドレス: 10.0.0.2	内部FQDN: instance-20191231-1345 表示 <u>コピー</u>	
	パブリックIPアドレス: 132.145.126.228	, サブネット: <u>パブリック・サブネット</u>	
	ネットワーク・セキュリティ・グループ: N	one <a>[</a>	
このインスタンスのトラフィックは、関連付		けられた <u>サブネット</u> のセキュリティ・リストおよびVNICのネットワーク・セキュリティ・グループに加えて、そのファイアウォール・ルールで制御されます。	
	起動オプション		
	NICアタッチメント・タイプ: PARAVIRTUAL	ZED ファームウェア: BIOS	
	リモート・データ・ボリューム: PARAVIRTU	ALIZED ブート・ボリューム・タイプ: PARAVIRTUALIZED	-
使用条件およびプライバシ クッキー選択設定		Copyright © 2019, Oracle ar	nd/or its affiliates. All rights reserved.

12 \*インスタンスのアイコンがオレンジから緑に変わると実行中であることを表しています。

(9/9) インスタンスへのログイン

#### CLIまたはGUIでvThunderにログイン可能です。



CLIへはパブリックIPへSSHでログイン

GUIへはパブリックIPへHTTPSでログイン

vThunder Series

Login

CA10 Networks, all rights reserved

admin

A1B,

# 【参考】 VNICの設定(1/4)

#### インスタンスの詳細の「アタッチされたVNIC」から「VNICの作成」をクリックします。

				Q Japan East (Tokyo) ∨	· 🗘 🖓 🗐 🌐 ·	0
	IJ£-	ヽ・デー <b>タ・ボリューム:</b> PARAVIRTUALIZED	ブート・ポリューム・タイプ: PARA	WIRTUALIZED		•
リソース 		ッチされたVNIC			2 アタッチされたVNICを表示	:
アタッチされたブロック・ボリュー ム (0) <b>アタッチされたVNIC (2)</b> ブート・ボリューム (1) コンソール接続 (0)	<b>VN</b> 799	instance-20191231-1345 (プライマリVNIC) OCID:itau2q 表示 ユピー アタッチ済: Tue, 31 Dec 2019 04:53:14 UTC コンパートメント: a10kktrial (ルート)	プライベートIPアドレス: 10.0.02 完全修飾ドメイン名: instance-20191231-1345 表示 コピー パブリックIPアドレス: 132.145.126.228	サブネット: <u>パブリック・サブネット</u> ソース/宛先チェックのスキップ: いいえ MACアドレス: 02:00:17:00:D6:64 VLANタグ: 3634 ネットワーク・セキュリティ・グループ: <u>SecGroup-1</u> 編集	•••	
作業リクエスト (1)	<b>VN</b> 799	vThunder data OCID:rt6tbq 表示 <u>コピー</u> アタッチ済: Tue, 31 Dec 2019 09:50:10 UTC コンパートメント: a10kktrial (ルート)	プライベートIPアドレス: 10.0.1.3 完全修飾ドメイン名: 使用不可 パプリックIPアドレス: 132.145.125.66	サブネット: <u>WebSiteNetwork</u> ソース/宛先チェックのスキップ: いいえ MACアドレス: 02:00:17:00:FA:58 VLANタグ: 3637 ネットワーク・セキュリティ・グループ: <u>SecGroup-1</u> 編集	•••	
						×



# 【参考】VNICの設定(2/4)

#### VNICの所属するネットワークやサブネット、パブリックIP割り当てなど設定します。

ORACLE Cloud			🔍 Japan East (Tokyo) 🗸 🕜 同 🌐 🛛
	リモート・データ・ボリューム: PARAVIRTUALI	D ブート・ホリューム・タイプ: PARAVIRTUALIZED	
<b>リソース</b> メトリック アタッチされたブロック・ボリュー ム (0) <b>アタッチされたVNIC (2)</b> ブート・ポリューム (1) コンソール接続 (0) 作業リクエスト (1)	アクッチさ         VNICの作成           VNICの作成         仮想クラウド・ネトの選択を有効に           いICの作成         「Instan OCID: アタッチ茶         公前(オブション)           アタッチ茶         コンパ         Wilcの作成           いICの作成         「Instan OCID: アタッ         公前(オブション)           アクリチ茶         コンパ         WebSiteNetwork           アクリチ茶         コンパ         ソース/宛先子	数道 シトワークまたはサブネットがVNICとは異なるコンパートメントにある場合は、これらのリソースに対してコンパートメン します: ここをクリック。 	2 アタッチされたVNICを表示 「ネット: パブリック・サブネット ・ス/宛先チェックのスキップ: いいえ Cアドレス: 02:00:17:00:D6:64 Nタグ: 3634 ・・・ ハワーク・セキュリティ・グループ: Group-1 I 「ネット: WebSiteNetwork ・ス/宛先チェックのスキップ: いいえ Cアドレス: 02:00:17:00:FA:58 Nタグ: 3637 ・・・
使用条件およびプライバシ クッキー選択設定	エックをスキップ ボックスを選択し プライマリIF プライベートIPアドレス 10.0.1.2から10.0.1254の パブリックIP ホスト名 (オブション) ホスト名を指定す 完全修飾ドメイン名 (#	してそのトラノイツクを転送するようにする()にとえば、イツトワーク・アトレス変換を美行する)にのか、チェック <b>情報</b> (オブション) 回回内である必要があります。現在使用中のものにすることはできません。 アドレスの割当て 「るには、DNSサービスが有効になっているサブネットを選択します ん、英末、数字および)・(7)このみです、最大63文字です。 取り用)	「トワーク・セギュリティ・クルーフ: Group-1 」 Copyright © 2019, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved

# 【参考】VNICの設定(3/4)

#### VNICの詳細からIPアドレスをクリックするとIPアドレスリストを確認できます。

$\equiv$ OR	ACLE Cloud		Q Japan East (Tokyo) ✔	众 ⑦ 🗏 ⊕	0
	使用可能		ソース/地元ナエックのスキッフ: いいパ		-
		作成日: Tue, 31 Dec 2019 09:50:23 UTC			
		コンパートメント: a10kktrial (リレート)	<b>MACアドレス:</b> 02:00:17:00:FA:58		
		サブネット: <u>WebSiteNetwork</u>	<b>VLANタグ:</b> 3637		
		プライマリIP情報			
		プライベートIPアドレス: 10.0.1.3	<b>完全修飾ドメイン名:</b> 使用不可		
		プライベートIP OCID:5ir5sa <u>表示 コピー</u>	<b>パブリックIPアドレス:</b> 132.145.125.66 (エフェメラル)		14
		プライベートIP割当て済: Tue, 31 Dec 2019 09:50:10 UTC	<b>パブリックIP OCID:</b> …24ku5q <u>表示 コピー</u>		
		ネットワーク・セキュリティ・グループ: <u>SecGroup-1</u> 編集			
リソース				3 IPアドレスを表示	7
					41
IPアドレス	(3)	プライベートIPアドレス: 10.0.1.3 (プライマリ)P)	<b>完全修飾ドメイン名:</b> 使用不可		ы
		IP プライベートIP OCID:5ir5sa 表示 コピー	<b>パブリックIPアドレス:</b> 132.145.125.66 (エフェメラル)		
		プライベートIP割当て済: Tue, 31 Dec 2019 09:50:23 UTC	パブリックIP OCID:24ku5q <u>表示</u> <u>コピー</u>		
		<b>プライ</b> ベートIPアドレス: 10.0.1.4	<b>完全修飾ドメイン名:</b> 使用不可		11
		P プライベートIP OCID:7ut43g 表示 □ピー	<b>パブリックIPアドレス:</b> (未割当て)		
		プライベートIP割当て済: Tue, 31 Dec 2019 09:51:30 UTC			ш
		<b>プライベートIPアドレス:</b> 10.0.1.5	<b>完全修飾ドメイン名:</b> 使用不可		Ш
		IP プライベートIP OCID:hyhaga <u>表示</u> <u>コピー</u>	<b>パブリックIPアドレス:</b> (未割当て)	•••	11
		プライベートIP割当て済: Tue, 31 Dec 2019 09:51:51 UTC			
					-

使用条件およびプライバシ クッキー選択設定

Copyright © 2019, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

16 \*インターフェースやVIP、NAT Pool用にIPアドレスを割り当てる必要があります。



#### VNICの詳細からIPアドレスの割り当てを設定することができます。

ORACLE Cloud					Japan East (Tokyo) 🗸	4 0 🗏		ĝ
<ul> <li>使用可能</li> <li>使用可能</li> <li>作成日: INBOR SOLUTION</li> <li>日本</li> <li>サブネット: WebSiteMe</li> <li>プライマリIP情</li> <li>プライベートIPカドレス</li> <li>プライベートIPカドレス</li> <li>プライベートIPカドレス</li> <li>アライベートIPカドレス</li> <li>アライ</li> <li>アクト</li> <li></li></ul>	9 09:50:23 UTC プライベートIPアドレスの割当て プライベートIPアドレス プライベートIPアドレス プライベートIPアドレス プライベートIPアドレス プライベートIPアドレス プライベートIPアドレス パフション) I 100.120%510.0.1254の範囲内である必要か うずでに別のVMICに創り当てられてい ホスト名(オプション) DNSホスト名はこのサブネット タグ タグ付けとは、テナンシ内のリン と値から構成されます。 タグ付けとは、テナンシ内のリン と値から構成されます。 タグパイトの詳細 タグ・ネームスペース なし(フリーフォーム・タグの通	ス あります。現在使用中のものにすることはできません。 る場合に副当て解除 で無効になっているため、使用できません。 なびいイフンのみです。最大63文字です。 で無効になっているため、使用できません。 クワ・キー 用) ↓		Image: state sta	Japan East (Tokyo) ✓		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
使用条件およびプライバシ クッキー選択設定	これはセカンダリ・プライベートIPで、予約 ・プライベートIPで、予約	済/ ブリックIPを持つことはできますが、エフェメラル・/ ブリックIP	は持てません。		Copyright © 2019, Oracle	nd/or its affiliates. All	rights reserve	2d. 🖵

AIB

# SLBの設定サンプル







# vThunderの設定サンプル

!	<b>slb server s1 10.0.1.2</b> Webサーバ1のアドレス
multi-config enable	port 80 tcp
terminal idle-timeout 0	slb server s2 10.0.1.6 Webサーバ2のアドレス
	port 80 tcp
vlan 10	
untagged ethernet 1	slb service-group sg1 tcp
router-interface ve 10	member s1 80
	member s2 80
hostname kishizuka_vi hunder1	eth1にOCIで割り当てた
	SID virtual-server vs1 10.0.1.3 ——— IPアドレスから割り当て
	port 80 http (パノリックIPとの対応付け要)
IP address dncp mgmtのIPアトレスはDHCPで設定 (初期設定でこの設定が入っている)	source-nat pool pool
	service-group sg1
	l aflann a lla star in 197.0.0.1.6949
enable eth1にOCIで割り当てた	show collector ip 127.0.0.1 6343
IPアドレスから割り当て	
in oddroop 10 0 1 4 255 255 0	l
Ip address 10.0.1.4 205.205.205.0 eth1にOCIで割り当てた	cioud-services meta-data
ドアドレスから割り目で	Provider enonstack 初期設定でCloud-init用の設定が入っている
$\frac{1}{100}$ in nat pool pool 1001510015 notmask /2/	
I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	: ond
$\frac{1}{10}$ in route 0.0.0.0 /0.10.0.1.1 ath 1.0.0.W	GIIU



関連資料のご案内

簡単スタートアップガイド A10簡単スタートアップマニュアルは、初めてA10のソリューションを導入するすべての方に、 導入前に必要となる情報を簡潔にわかりやすくまとめた資料となります。 詳しくはこちらのリンクをご参照ください。 https://www.a10networks.co.jp/download/startupmanual/

無料トライアルライセンス 無料のトライアルライセンスの入手については、こちらのリンクをご参照ください。 <u>https://www.a10networks.co.jp/download/free-trial/</u>

Oracle Cloud Marketplace上でのA10紹介サイト https://cloudmarketplace.oracle.com/marketplace/en\_US/listing/51617399

さらに詳細なインストールガイド(英語)をご希望の方は、以下問い合わせフォームにて 「Installing vThunder on Oracle Cloudガイド希望」の旨記載しご連絡ください。 <u>https://www.a10networks.co.jp/contact</u>



# Thank You

